



平成26年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月10日

上場取引所 福

上場会社名 メディアファイブ株式会社

コード番号 3824 URL <http://www.media5.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上野 英理也

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長

(氏名) 吉行 亮二

TEL 092-762-0555

四半期報告書提出予定日 平成26年4月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第3四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成26年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第3四半期	772	12.3	20	495.1	20	436.4	14	—
25年5月期第3四半期	687	2.1	3	—	3	—	0	—

(注) 包括利益 26年5月期第3四半期 14百万円 (464.2%) 25年5月期第3四半期 2百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第3四半期	16.79	—
25年5月期第3四半期	0.80	—

当社は、平成25年6月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年5月期第3四半期	410	282	68.7	332.26
25年5月期	429	267	62.2	315.24

(参考) 自己資本 26年5月期第3四半期 281百万円 25年5月期 267百万円

当社は、平成25年6月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年5月期	—	0.00	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,002	4.2	21	△0.3	21	△0.2	18	4.8	21.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年5月期3Q	893,600 株	25年5月期	893,600 株
② 期末自己株式数	26年5月期3Q	46,000 株	25年5月期	46,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年5月期3Q	847,600 株	25年5月期3Q	847,600 株

当社は、平成25年6月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、積極的な経済政策や金融政策を背景に、企業収益や個人消費に持ち直しが見られるなど緩やかな回復基調で推移いたしました。また、雇用情勢についても、業績の回復に伴う求人数の増加により改善傾向にあります。

当社グループの属する情報サービス業界では、経済政策・金融政策の効果が現れている業種・企業も増加しており、今後も緩やかな回復基調が継続するものと考えております。

このような環境の中、ソリューション事業B to Bソリューショングループは、福岡地区を中心にITエンジニア育成研修（当社呼称：虎の穴研修）から輩出された人材を計画的に配置できており、ITエンジニアの稼働率は高い水準で推移いたしました。また、高度IT人材の人手不足が続くなか、一人月当たりの平均単価も引き続き上昇傾向で推移したため売上高・売上総利益が増加いたしました。

ソリューション事業B to Cソリューショングループは、既存取引先のシステム開発案件や中小企業のITを支援する「OFFICE DOCTOR」の新規開拓・リピート案件も増加傾向にあり、損益が改善いたしました。

工事関連事業は、平成26年4月1日からの消費税率引き上げに伴う工期の前倒しを背景に売上高・売上総利益が増加いたしました。

ダブルスキル事業は、平成26年1月27日に福岡県北九州市より起業支援型地域雇用創造事業（名称「ダブルスキル人材育成事業、補助教材事業」）を受託し、本社を福岡県北九州市へ移転いたしました。デザイン・漫画スキルとITスキルを融合させたダブルスキル人材の育成がスタートいたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高772,051千円（前年同四半期は687,641千円）、売上総利益280,890千円（同238,453千円）、営業利益20,458千円（同3,437千円）、経常利益20,104千円（同3,748千円）、四半期純利益14,234千円（同681千円）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。（各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。）

①ソリューション事業B to Bソリューショングループ

ソリューション事業B to Bソリューショングループにおいては、稼働者数131名からスタートし、当第3四半期連結累計期間末においては稼働者数が143名となりました。福岡地区の開発フェーズの案件が増えていることに加え、当社独自のITエンジニア育成研修（当社呼称：虎の穴研修）から輩出された人材を計画的に配置できたことで、稼働者数が増加いたしました。また、高度IT人材のスキルアップに注力した結果、一人月当たりの平均単価も上昇傾向にあり、売上高が増加しております。その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は660,785千円（前年同四半期は596,393千円）、セグメント利益は151,814千円（同131,686千円）となりました。

②ソリューション事業B to Cソリューショングループ

ソリューション事業B to Cソリューショングループにおいては、既存取引先からのシステム開発案件が増加したことに加え、中小企業のITを支援する「OFFICE DOCTOR」のようなライトなサービスを切り口に受注件数・金額ともに増加しており、売上高・売上総利益が増加いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は48,437千円（同35,813千円）、セグメント利益は2,226千円（前年同四半期はセグメント損失788千円）となりました。

③スクール事業

スクール事業においては、継続的に当社独自のITエンジニア育成研修（当社呼称：虎の穴研修）に力を注いでおります。形式的には人材育成の投資になりますので損失が計上されておりますが、人材不足が叫ばれるITエンジニアの増加施策としての役割は大きいと考えております。なお、ITエンジニア育成研修を修了した人材の正社員登用も増加傾向にあります。その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は145千円（前年同四半期は2,552千円）、セグメント損失は18,609千円（同12,104千円）となりました。

④工事関連事業

工事関連事業においては、福岡県の各種テナント・賃貸ビル等の内装工事・外装工事を中心に安定的に受注できております。その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は64,289千円（同54,847千円）、セグメント利益は6,420千円（同2,726千円）となりました。

⑤ダブルスキル事業

ダブルスキル事業には、子会社である株式会社ダブルスキルによる売上高及びセグメント損失を計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債・純資産の状況

(資産)

資産合計は410,230千円(前連結会計年度末は429,436千円)、うち流動資産341,072千円(同361,245千円)、固定資産69,158千円(同68,190千円)となりました。

その主な内訳は、流動資産については現金及び預金205,349千円(同224,747千円)、売掛金115,617千円(同116,146千円)等であります。固定資産については有形固定資産14,581千円(同14,149千円)、無形固定資産3,686千円(同5,348千円)、敷金及び保証金27,161千円(同26,003千円)等であります。

(負債)

負債合計は127,334千円(同162,241千円)、うち流動負債は97,566千円(同121,580千円)、固定負債は29,768千円(同40,660千円)となりました。

その主な内訳は、流動負債については買掛金6,197千円(同5,618千円)、未払費用13,780千円(同53,939千円)等であります。固定負債については長期借入金28,120千円(同39,118千円)等であります。

(純資産)

純資産合計は282,896千円(同267,195千円)、うち株主資本273,172千円(同258,937千円)、その他の包括利益累計額8,451千円(同8,257千円)、少数株主持分1,272千円(前連結会計年度末はなし)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年7月10日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

第1四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社ダブルスキルを連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	224,747	205,349
売掛金	116,146	115,617
仕掛品	10,336	11,484
原材料及び貯蔵品	511	870
繰延税金資産	—	172
その他	9,995	8,040
貸倒引当金	△491	△462
流動資産合計	361,245	341,072
固定資産		
有形固定資産	14,149	14,581
無形固定資産	5,348	3,686
投資その他の資産		
敷金及び保証金	26,003	27,161
その他	22,689	23,728
投資その他の資産合計	48,693	50,889
固定資産合計	68,190	69,158
資産合計	429,436	410,230
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,618	6,197
1年内返済予定の長期借入金	14,664	14,664
未払法人税等	4,132	4,980
未払消費税等	11,961	10,766
賞与引当金	—	17,712
未払費用	53,939	13,780
繰延税金負債	30	—
その他	31,235	29,464
流動負債合計	121,580	97,566
固定負債		
長期借入金	39,118	28,120
繰延税金負債	1,542	1,648
固定負債合計	40,660	29,768
負債合計	162,241	127,334

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	175,825	175,825
資本剰余金	141,525	141,525
利益剰余金	△49,588	△35,354
自己株式	△8,823	△8,823
株主資本合計	258,937	273,172
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,257	8,451
その他の包括利益累計額合計	8,257	8,451
少数株主持分	—	1,272
純資産合計	267,195	282,896
負債純資産合計	429,436	410,230

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)
売上高	687,641	772,051
売上原価	449,188	491,161
売上総利益	238,453	280,890
販売費及び一般管理費	235,015	260,431
営業利益	3,437	20,458
営業外収益		
受取利息	5	12
未払配当金除斥益	—	145
助成金収入	720	—
雑収入	49	284
営業外収益合計	774	443
営業外費用		
支払利息	401	507
創立費償却	—	276
雑損失	63	13
営業外費用合計	464	797
経常利益	3,748	20,104
特別損失		
固定資産除却損	25	—
特別損失合計	25	—
税金等調整前四半期純利益	3,723	20,104
法人税、住民税及び事業税	3,340	6,300
法人税等調整額	△299	△203
法人税等合計	3,041	6,097
少数株主損益調整前四半期純利益	681	14,006
少数株主損失(△)	—	△227
四半期純利益	681	14,234

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	681	14,006
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,835	193
その他の包括利益合計	1,835	193
四半期包括利益	2,517	14,200
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,517	14,428
少数株主に係る四半期包括利益	—	△227

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。